

1. 活用推進者

開発部部长 取締役 兼 CTO
白川 雄一

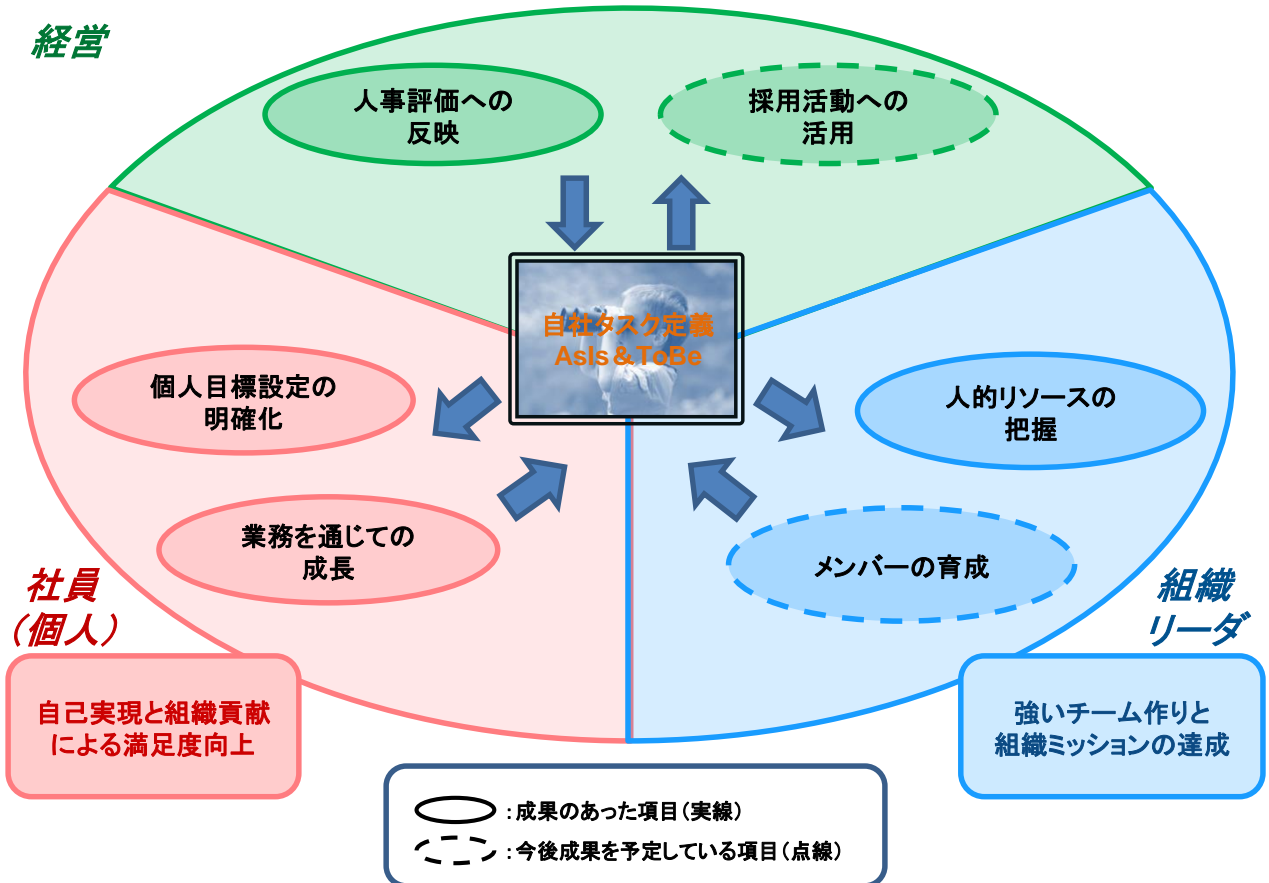


2. 会社概要

- 社名 : 株式会社テクノスクエア
- 所在地 : 福岡市博多区博多駅前2丁目11-16 第2大西ビル6階
- 設立 : 1997年8月
- 代表者 : 代表取締役 石川 浩一
- 資本金 : 2,000万円
- 社員数 : 24名

3. iCD取組み効果

経営戦略の達成とイノベーションを呼ぶ会社組織の構築



4. iCD取組みの効果及び今後予定する効果内容

4.1. 効果のあった項目	効果内容
人事評価への反映	従来のように、評価者の主観に基づくのではなく、明確な数値を基準にした技術面の評価が可能になった。
人的リソースの把握	メンバーの技術レベルをより正確に把握することができるようになった。
個人目標設定の明確化	技術面の現状を把握できるようになり、個人の年度目標を設定しやすくなった。
業務を通じての成長	個人が目標設定に関わることで、日々の業務を通じて、自ら成長する機会を得られるようになった。
4.2. 効果を予定している項目	予定している効果内容
採用活動への活用	特に中途採用において、応募者の技術レベルを正確に測るためのCCSF活用を検討していく。
メンバーの育成	実業務を通じた成長以外に、教育やセミナーを通じて、メンバーのスキルアップを図る方策を実行していく。

5. iCD活用に対する現場からの評価の声



経営者

経営戦略を遂行していく上で、従業員のスキルの棚卸し、現状把握ができるメリットは非常に大きい。
また、人事評価制度に組み込むことができたことも有益であった。



現場リーダー

メンバーと目標設定に関する打ち合わせを行う際に、現状把握の資料として有益である。
また、重点とするスキル項目をチームの施策と関連付けて認識しやすくなった。

自分の技術レベルがどの程度なのかを見ることができるようになり、年間の目標設定が立てやすくなった。ただ、年に1回の事とは言え、スキルレコーディングは項目数が多く、実施に時間がかかってしまうのが難点。



社員

6. iCD取組みの効果

■効果項目:人事評価への反映

- ・従来のように、保有している資格の数や評価者の主観に基づくのではなく、明確な数値を基準にした技術面の評価が可能になった。
- ・人事評価のうち技術面に関する評価項目で、CCSFスキルレコーディング結果を利用している(CCSFで全ての評価を決定するわけではない)。
- ・スキルレコーディング結果を数値化し、前年度からの増加数で評価を決定している。
- ・絶対評価ではなく相対評価とすることで、その一年の成長度合いを測る。

■効果項目:人的リソースの把握

- ・メンバーの技術レベルをより正確に把握することができるようになった。
- ・スキルレコーディングの結果を集計し、全社で共有するようにしている。その結果、人的リソースの把握が、より分かりやすくなった。

6. iCD取組みの効果

■効果項目:個人目標設定の明確化

- ・技術面の現状を把握できるようになり、個人の年度目標を設定しやすくなった。
- ・毎年、個人ごとに目標設定を行うが、CCSFで現状のスキルを把握することで、その年に目指すべきレベルアップの内容が分かりやすくなった。

■効果項目:業務を通しての成長

- ・個人が目標設定に関わることで、日々の業務を通じて、自ら成長する機会を得られるようになった。
- ・CCSFのスキルは、個人が実際に遂行する業務に関連づいているので、業務外での勉強会などに参加しなくても、実業務をこなすことで成長を図れる。